



EPSON SMART PANEL

for Scanner

ユーザースガイド

著作権

Copyright ©1999-2000, NewSoft Technology Corp. All Rights Reserved.

本書の内容の一部または全部を無断転載することはお断り致します。

本書の内容については、機能向上のため、予告なく変更することがあります。

本書における全ての画像、ファイル等はそれぞれ各社の著作物です。複製することは禁じられています。

商標

IBM, PC, VGAはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。

MS-DOS, Windows, Windows 95, Windows 98, Windows 2000, Windows NT, Microsoftは米国マイクロソフト社の登録商標です。

Adobe および PhotoDeluxeはアドビシステムズ社の商標です。

その他、このマニュアルに掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

テクニカルサポートサービス

日本： ニューソフトジャパン株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋6-21-3 6階
ニューソフトカスタマーサポートセンター

Tel: 03-5472-7008

Fax: 03-5472-7009

電子メール：support@newsoft.co.jp

ホームページ：<http://www.newsoftinc.co.jp>

米国： NewSoft America, Inc.

E-mail: tech@newsoftinc.com

<http://www.newsoftinc.com>

台湾： NewSoft Technology Corporation

3F, No. 19-3, SanChong Rd., NanKang, Taipei, Taiwan

目次

| | |
|---|-----------|
| 第1章 | 5 |
| EPSON SMART PANEL..... | 5 |
| EPSON SMART PANEL の概要..... | 5 |
| EPSON SMART PANEL の使用方法..... | 7 |
| EPSON SMART PANEL のスキャナビボタンのカスタマイズ..... | 9 |
| 第2章 | 12 |
| スキャンアシスタント | 12 |
| スキャンアシスタントの概要..... | 12 |
| フォトスキャンアシスタント..... | 12 |
| 第3章 | 16 |
| Eメール | 16 |
| Eメールの概要..... | 16 |
| Eメールの操作方法..... | 17 |
| Eメールの活用..... | 19 |
| 第4章 | 21 |
| アプリケーション | 21 |
| アプリケーションの概要..... | 21 |
| アプリケーションの操作方法..... | 21 |
| アプリケーションの活用..... | 22 |
| 第5章 | 27 |
| カード、カレンダー | 27 |
| カード、カレンダーの概要..... | 27 |
| カード、カレンダーの操作方法..... | 27 |

| | | |
|------------|-----------------------------------|-----------|
| 第6章 | | 29 |
| | OCR | 29 |
| | OCRの概要 | 29 |
| | OCRの操作方法 | 29 |
| 第7章 | | 30 |
| | コピー | 30 |
| | コピーの概要 | 30 |
| | クイックガイド | 31 |
| | コピー設定 | 31 |
| | コピーの活用 | 35 |
| 第8章 | | 37 |
| | DPE | 37 |
| | EPSON Easy Photo Printの概要 | 37 |
| | クイックガイド | 38 |
| | EPSON Easy Photo Printの操作方法 | 39 |
| | お使いになるにあたって | 41 |

第1章

EPSON SMART PANEL

EPSON SMART PANEL の概要

EPSON SMART PANEL for Scanner (以下には“EPSON SMART PANEL”と呼びます) はスキャナのコントロールセンターとなるものです。コピー、Eメール、画像の取り込み、印刷をしたり、OCR（光学式文字認識）ソフトウェアを使用する際に、周辺機器とのインターフェイスとして迅速かつ簡単に作業をお手伝いします。

EPSON SMART PANEL を起動させるには、まず EPSON SMART PANEL for Scanner プログラムフォルダの  EPSON SMART PANEL for Scanner を選択してください。



EPSON SMART PANEL のパネルモード

EPSON SMART PANEL を開いたら、アイコンをクリックして各項目にアクセスします。各項目とその説明については下記を参照してください。

| アイコン | 作業項目 | 説明 |
|--|-----------|---|
|  コピー | コピー | 原稿をコピーします。 |
|  Eメール | メール | スキャン処理を実行し、取り込まれた画像を電子メールで送信します。 |
|  OCR | OCR | 文字認識処理を実行し、認識結果のファイル保存や、更に編集を加えるための転送を行います。 |
|  DPE | DPE | 写真を多様なサイズやレイアウトを用いて印刷します。 |
|  アプリケーション | アプリケーション | スキャン処理を実行し、更に編集を加えるためのアプリケーションへ画像データを転送します。 |
|  カード、カレンダー | カード、カレンダー | 取り込んだ画像を PhotoDeluxe に送り、カード、カレンダー、ラベルなどを作成します。 |

ご注意：

- .. 読んで!!ココ for EPSON がインストールされていないと、“OCR”にアクセスすることはできません。
- .. PhotoDeluxeがインストールされていないと、“カード、カレンダー”にアクセスすることはできません。
- .. コピー・OCR・DPE は、TWAINの全自動モードによる複数枚連続取り込みには対応しておりません。

EPSON SMART PANEL の使用方法

EPSON SMART PANEL においてアイコン上にマウスを動かすと、各アプレットの簡単な説明がパネル中央に現れます。希望のアプレットを起動するにはアイコンをクリックしてください。

スキャナビボタン機能

スキャナのスキャナビボタンを押したときに EPSON SMART PANEL 内のお好みのアプレットが起動するようにカスタマイズすることができます。

スキャナビボタンには、“Eメール”、“OCR”、“DPE”、“アプリケーション”、“カード、カレンダー”、“コピー”、またはEPSON SMART PANELのいずれかを起動させるように設定できます。

ご注意： スキャンボタンには2種類があります：選択したアプレットを起動するボタンと特定のアプレット(例えば“Eメール”、“DPE”など)を起動するボタンがあります。ご使用のスキャナモデルにより、スキャンボタンが多少に違うこともありますので、スキャナの取扱説明書を参照してください。

このスキャナビボタン機能を正しく作動させるためには、まずコントロールパネルの[スキャナとカメラ]で EPSON SMART PANEL for Scanner を指定先アプリケーションとして設定しなければなりません。そうすると EPSON SMART PANEL の設定で、スタートボタンを押したときどの項目を起動するか選択し変更することができます。スキャナで指定先アプリケーションを設定する場合は、下記の操作システムの説明に従ってください。

1. [スタート] [設定] [コントロールパネル]の順に選択します。

[コントロールパネル]で  [スキャナとカメラ]のアイコンをダブルクリックします。

2. [スキャナとカメラのプロパティ]において、スキャナを選択して[プロパティ]をクリックします。



3. [イベント]タブをクリックし、[スキャナイベントリスト]から[スキャナビボタン]を選択します。
4. EPSON SMART PANEL for Scanner をチェックします。



5. OKをクリックします。

EPSON SMART PANEL のスキャナビボタンのカスタマイズ

デフォルトアプレットを設定するには、EPSON SMART PANEL を開いて、パネルの左下のボックスから希望のアプレットを選択するか、 を押して選択してください。

ご注意：

- “ 読んで!!ココ for EPSON がインストールされていない場合、“OCR” はデフォルトアプレットとして設定することができません。
- “ PhotoDeluxe がインストールされていない場合、“カード、カレンダー” はデフォルトアプレットとして設定することができません。

スキャナの選択

EPSON TWAIN 5

EPSON SMART PANEL が起動するとき、コンピュータにスキャナが接続されているかどうか自動的に検出されます。SMART PANEL 対応の TWAIN ドライバがインストールされている場合には、画面の下に選択ボックスが現れます。この選択ボックスで、使用するスキャナの TWAIN ドライバを設定できます。

システムメニュー

他のソフトウェア同様、EPSON SMART PANEL にもシステムメニューがあります。システムメニューにはパネルモード、パレットモードの切り替え、カスタマイズ、ヘルプ機能、プログラム情報表示用のコマンドが入っています。パネル左上の  をクリックするとシステムメニューが表示されます。

| | | |
|---------------------------------------|--------|--|
| 還原(R) | | |
| 移動(M) | | |
| 最小化(W) | | |
| パレットに切り替え パレットの設定 | Ctrl+S | — パネルとパレットモードの切り替え — パレットモードのカスタマイズ |
| 閉鎖(C) | Alt+F4 | — * EPSON SMART PANEL 終了 |
| ヘルプ | | — ヘルプ内容表示 |
| EPSON SMART PANEL for Scanner について... | | — バージョン情報と著作権表示 |

ご注意：EPSON SMART PANEL は終了時のモードを記憶しますので、次回起動したときは前回終了時と同じモード設定になっています。

パネルモードとパレットモードの切り替え

EPSON SMART PANEL はパネルモードとパレットモードの2種類の操作パネルを備えています。

パネルモードには利用可能なアプレットが表示され、アプレットの説明が表示されます。パレットモードはツールバー内にアイコンで表示され、他のアプリケーションへのアクセスの際、移動することができます。



パレットモード

パレットモード設定コマンド

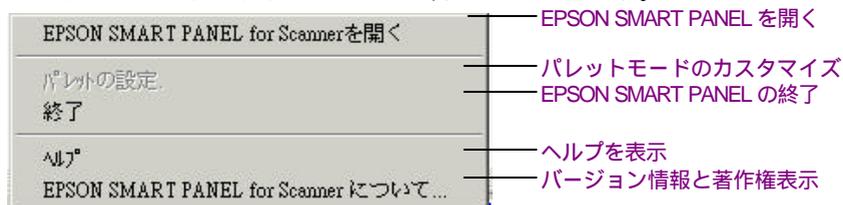
システムメニューのパレットモード設定コマンドはパレットモードのときのみ使用可能です。[パレットの設定]ダイアログボックスにおいて、どのアプリケーションをパレット上に表示するか選択することができます。[パレットの設定]ダイアログボックスから[スキャナピボタンの設定]をクリックして、“Eメール”、“OCR”、“DPE”、“アプリケーション”、“カード、カレンダー”、“コピー”またはEPSON SMART PANELをスキャナピボタン押したときの起動アプリケーションとして設定することができます。



ご注意： スタートボタンにおけるターゲットアプレットは、自動的にパレット上に表示され、選択をはずすことはできません。

システムトレイタスクアイコン 1:55 PM

Windows を起動した際、タスクアイコン、 が自動的にタスクバーのシステムトレイに表示されます。このタスクアイコンをクリックして EPSON SMART PANEL を起動することもできますし、右クリックでショートカットメニューを出すこともできます。



第2章

スキャンアシスタント

スキャンアシスタントの概要

“スキャンアシスタント”はEPSON SMART PANEL アプレットのいくつかに通じて使用されるインターフェースです。このインターフェースを正しく使いこなせば、“Eメール”、“アプリケーション”、そして“カード、カレンダー”のアプレットを使って写真や文書を迅速かつ容易に、デジタル形式に変換することができます。

フォトスキャンアシスタント

たとえ取り込み作業に不慣れな場合でも、フォトスキャンアシスタントが取り込み作業を容易にしてくれます。また、もし TWAIN インターフェイスを使用された経験があるのでしたら、[TWAIN] ボタンをクリックして TWAIN で画像を取り込んでいただいても結構です。

ご注意： 透過原稿ユニットをご使用の際には [TWAIN] ボタンをクリックして TWAIN インターフェイスから画像を取り込んでください。

取り込み設定

写真の取り込み作業は写真を焼き増しするのと同様簡単なことです。カメラにいくつか異なった種類の写真を撮る設定が備わっているように、フォトスキャンアシスタントにも異なったいくつかの設定があり、画像をより効果的に取り込めるように設定することができます。フォトスキャンアシスタントではスキャンモードを調整し、取り込む画像の種類を選択したり、取り込み領域を指定したりすることが出来ます。



フォトスキャンアシスタントには共通文書タイプ（取り込み原稿）用に、ある程度の決められた設定が施されています。文書タイプを選択することで取り込みに適した設定を選択することができます。これに関しては下記の図を参照してください。

| 取り込み原稿 | スキャンモード | 指定先 | モアレ除去 | 自動露出 | 既定義領域 |
|--------|---------|------------------------|-------|------|------------|
| 写真 | カラー | プリンタ (ファイン) 300 dpi | Off | On | 6"x4" |
| 雑誌 | カラー | プリンタ (通常) 150 dpi | On | On | A4 |
| 新聞 | 白黒 | プリンタ (通常) 300 dpi | On | On | 8.5"x11.7" |
| 文書 | 白黒 | プリンタ (通常) 150 dpi | Off | On | A4 |
| パンフレット | カラー | プリンタ (通常) 150 dpi | On | On | A4 |

ご注意：

- .. 選択した取り込み原稿によってはモアレ除去機能が適用される場合があります。
- .. プレビュー画像があるときのみ自動露出機能が適用されます。この機能は取り込んだ画像のコントラストと明るさを自動的に調整します。

[取り込みモード]設定を変更することにより、取り込んだ画像の表示を変えることができます。画像はフルカラー、グレースケール（黒から白の範囲の灰色部分）または白黒で取り込みが可能です。

[出力機器]の設定を変更することによって、どれだけの dpi（1 インチあたりのドット数）で取り込むかを指定することができます。もし画像をモニターでのみ表示する場合、[スクリーン]を選択すれば取り込み解像度は小さくなります。画像を印刷する場合は、[プリンタ（ノーマル）]が[プリンタ（ファイン）]を選んでください。対応している設定値については下記を参照してください。

| | カラー&グレースケール | 白黒 |
|------------|-------------|---------|
| スクリーン | 96 dpi | 300 dpi |
| プリンタ（ノーマル） | 150 dpi | 300 dpi |
| プリンタ（ファイン） | 300 dpi | 300 dpi |

画面の左側の[プレビューウィンドウ]で取り込み領域をドラッグすることによって取り込み領域の範囲を定めることができます。ドット選択フレームが取り込み領域をマークしますので、各コーナーでポインターを使って選択フレームのサイズ変更するか、選択フレームの真中をクリックしてお好みの場所へドラッグしてください。

複数枚の原稿を取り込む場合は、次のオプションを選択することができます。

複数画像の取り込み：

[複数取り込み]が選択された場合、画像の取り込みが完了するたびにダイアログボックスが表示されます。“スキャンアシスタント”がさらに画像を取り込むか尋ねてきますので、[はい]か[いいえ]を選択して次に進んでください。ポップアップダイアログボックスにある X 秒

後にダイアログを閉じるオプションをチェックし、タイマーとしての秒数を入力することができます。

ご注意： [複数取り込み] が選択された場合、取り込んだ画像数がプレビュー画像の下に表示されます。

ADF 有効：

取り込み原稿が ADF（オートドキュメントフィーダ）にセットされている場合は、[ADF を使用する] を選択してください。スキャナに ADF が接続されていない場合、このオプションは使用できません。

ご注意： [ADF を使用する] が選択されている場合、プレビュー取り込み機能を使用することはできません。

オートプレビュー：

次回スキャンアシスタントが表示されるときに、自動的にプレビューをおこないます。

プレビュー

[プレビュー] ボタンを押すと、“スキャンアシスタント” は低解像度でプレビュー画像を表示します。

プレビューは、取り込み領域だけでなくスキャナ原稿台全体の画像を表示することができます。これによってプレビュー画像から取り込み領域の範囲を定めることができます。

TWAIN スキャン

TWAIN インターフェイスを使って画像取り込みをするには、[TWAIN] ボタンをクリックしてください。この場合“スキャンアシスタント”のどの設定も無効になりますので、開いている TWAIN インターフェイスで設定をしなおす必要があります。

ご注意： TWAIN インターフェイスを使用する際の詳細な情報については、スキャナの取扱説明書またはオンラインヘルプを参照してください。

Eメール

Eメールの概要

電子メールに画像ファイルを添付して送るのは多くの場合、実に骨の折れる作業です。まず、画像処理ソフトを起動させ、お好みの画像を取り込み、その画像をディスクに保存します。それから電子メールアプリケーションを起動し、保存した画像ファイルを検索します。添付したいファイルを探し出したら、ようやくメッセージに添付して送信することができます。この全ての工程が複雑で時間を要してしまいます。

この“Eメール”を使えば、簡単に写真や画像を電子メールに添付することができます。画像を取り込んで電子メールで送るまでの工程が、迅速かつ簡単に行えます。“Eメール”は自動的に電子メールアプリケーションを検索し、画面上のウィザードで、画像の取り込みと電子メール処理を行うことができます。

サポートされているファイル形式についての詳細な情報に関しては“Eメールの活用”をご覧ください。

ご注意： “Eメール”は代表的な電子メールアプリケーションをサポートしています。（Lotus cc:Mail 6.0, Qualcomm Eudora v4.3, Microsoft Exchange, Microsoft Outlook 等の MAPI 対応のメールソフト）

もしサポートされている電子メールアプリケーションがインストールされていない状態で“Eメール”を起動すると、エラーメッセージが表示されますので、OKをクリックして“Eメール”を閉じてください。

Eメールの操作方法

ステップ1：画像の取り込み

“Eメール”を起動させたら、まず画像を取り込みます。“Eメール”のフォトスキャンアシスタントが簡単に手早く画像を取り込む作業をします。画像の取り込みの詳細については、[第2章 スキャンアシスタント]の“フォトスキャンアシスタント”の項を参照してください。

ステップ2：画像設定

取り込みが完了したら、メールで送信したい画像のファイルの名前と、ファイル形式を指定します。

全ての取り込まれた画像のサムネイルが画面の左側に表示されます。取り込まれた各画像には、頭文字で始まり4桁の番号を伴うデフォルトファイル名がつけられます。

各画像をダブルクリックすると、画像がイメージビューアで表示されます。イメージビューアの詳細については、“イメージビューア”の項を参照してください。

取り込まれた画像の名前を変更するには、[名前とタイプを指定]をクリックしてください。するとダイアログボックスが表示されますので、その取り込まれたファイルの名前とファイル形式を指定してください。



ファイル名称および形式を指定

[ファイル名の頭文字]のダイアログで入力する文字列は、“Eメール”で使用される全ての画像ファイル名の頭文字となります。頭文字の後、各画像ファイルには自動的に0001から始まる番号が付けられます。

[ファイル種別] リストボックスからお好みのファイル形式を選択してください。ファイルをJPEG ファイル形式として指定した場合は、[オプション] をクリックすると画像品質を指定することができます。

取り込まれた画像につける名前と形式を決定した後は、[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じて下さい。設定を保存せずに作業を中断する場合は[キャンセル] をクリックして下さい。ファイル名とファイル形式の指定を終えたら、[確認終了] をクリックして“Eメール”に戻ってください。

ステップ3：電子メールアプリケーション

“Eメール” は自動的に電子メールアプリケーションを検索します。お好みの電子メールアプリケーションを選択して[メール送信] をクリックしてください。



画面の指示に従って電子メールアプリケーションを起動してください。取り込んだ画像は自動的にメールに添付され、電子メールアプリケーションから送信できます。

Eメールの活用

下記の機能を使って“Eメール”をより活用することができます。

イメージビューア

インデックス画面のサムネイルをダブルクリックすると、[イメージビューア]が起動します。このイメージビューアからいくつかの機能を使用することができます。

ファイルメニューから[名前をつけて保存]をクリックしてハードディスクに画像を保存することができます。

また画像を異なった大きさで見ることでもあります。画像を拡大するには[ズームイン]  をクリックし、縮小するには[ズームアウト]  をクリックします。またメニューの[表示]から[ズーム]を選択して倍率を指定することもできます。

サポートファイル形式

“Eメール”は取り込まれた画像を様々なイメージファイル形式に変換できます。“Eメール”でサポートしているファイル形式は以下の通りです。

ご注意：“Eメール”でサポートしているファイル形式は、将来的に変更される可能性があります。

- .BMP Windows ビットマップ ファイル形式
- .EXE Presto! Wrapper ファイル形式
- .FPX Flash Pix 画像ファイル形式、Flash Pix-単色圧縮画像ファイル形式、Flash Pix-JPEG 圧縮画像ファイル形式
- .JPG JPEG 圧縮ファイル形式、JPEG プログレッシブ圧縮ファイル形式

- .PCT Macintosh PICT ファイル形式
- .PCX ペイントブラシ画像ファイル形式
- .PNG PNG,PNG-最小サイズ圧縮ファイル形式、PNG-最大速度圧縮ファイル形式
- .TGA Targa Truevision ファイル形式(Targa and Targa-rlc ファイル形式)
- .TIF TIFF 非圧縮ファイル形式、TIFF パックドビットファイル形式、TIFF-G3 圧縮ファイル形式、TIFF-G4 圧縮ファイル形式

アプリケーション

アプリケーションの概要

“アプリケーション”は画像を取り込んで、他のアプリケーションに直接画像を送るという役目をしています。各ステップは自動的に進んでいきますので、それに従って作業を簡単にこなすことができます。

アプリケーションの操作方法

“アプリケーション”を使って画像を他のアプリケーションに直接送る前に、下記の説明をお読みください。

ステップ1：画像の取り込み

“アプリケーション”を開いたら、まず画像を取り込みます。“アプリケーション”のスキャンアシスタントインターフェイスで簡単かつ迅速に画像を取り込むことができます。画像の取り込みに関する詳細な説明については、[第2章 スキャンアシスタント]の“フォトスキャンアシスタント”の項を参照してください。

ステップ2：確認

画像の取り込みが完了したら、画像をダブルクリックしてイメージビューアを表示します。取り込んだ画像を確認し、問題がなければ[確認終了]をクリックしてください。取り込んだ画像が気に入らなければ[戻る]をクリックして取り込んだ画像を破棄し、最初からやり直すことができます。

ステップ3：起動

登録しているどのアプリケーションに取り込んだ画像を送りたいか指定します。アプリケーションの登録に関しては“新規アプリケーションの登録”の項を参照してください。

リストからお好みのアプリケーションをクリックし、[アプリケーション起動]をクリックしてください。画像が選択されたアプリケーションに送られます。



アプリケーションを選択

アプリケーションの活用

イメージビューア

インデックス画面のサムネイル画像をダブルクリックすると、[イメージビューア]が現れます。ここからいくつかの機能を実行することができます。

ファイルメニューから[名前をつけて保存]をクリックするとハードディスクに画像を保存することができます。

また画像を異なった大きさで表示することもできます。[ズームイン]  をクリックすると画像が拡大され、[ズームアウト]  をクリックすると画像が縮小します。またはメニューの[表示]から[ズーム]を選択して倍率を指定することもできます。

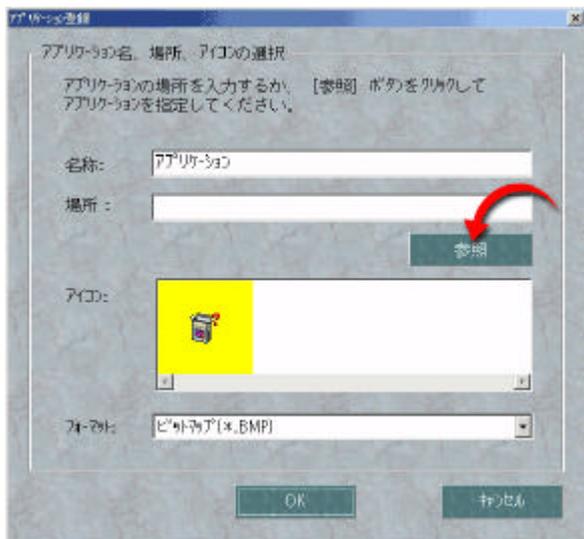
新規アプリケーションの登録もし好みのアプリケーションが自動的に登録されない場合は、[リフレッシュリスト]ボタンを押すか、手で登録していただく必要があります。

アプリケーションを登録するには：

1. [アプリケーション登録]ボタンをクリックします。



2. [アプリケーション登録]ダイアログボックスの[参照]ボタンをクリックして、登録したいアプリケーションを検索します。



3. ダイアログボックス下部のプルダウンメニューでアプリケーションのファイル形式を選択します。指定した形式は、ファイルをアプリケーションに送る際のデフォルトファイル形式となります。
4. [OK]をクリックして新規アプリケーションを登録します。

アプリケーションの並び替え

“アプリケーション”において、アプリケーションリストのアプリケーションの順序を変更することが可能です。

アプリケーションの並び替えをするには、[並び替え]ボタンをクリックして移動したいアプリケーションを選択します。そして右側の矢印キーをクリックして、そのアプリケーションをリストの新しい場所へ移動してください。



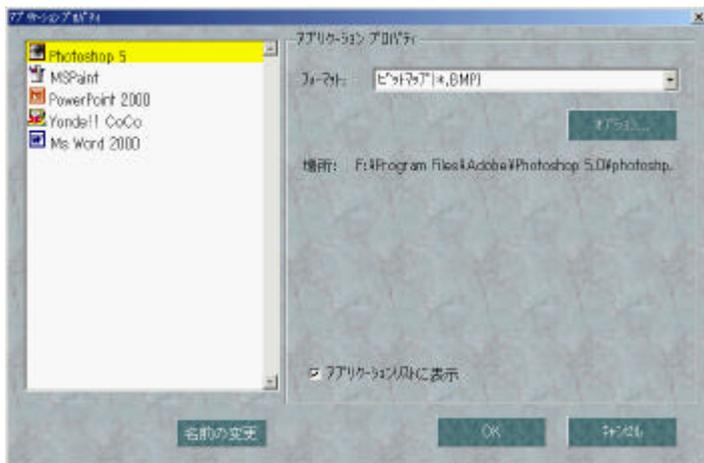
アプリケーションリストの更新

もしインストールしたアプリケーションがリストにない場合は、[リフレッシュリスト]ボタンをクリックしてアプリケーションリストを更新してください。

アプリケーションのプロパティ

登録されたアプリケーションのプロパティを設定するには、[起動]画面から[プロパティ]をクリックして[アプリケーションのプロパティ]画面を開いてください。

選択されたアプリケーションにファイルを送る際に使用されるデフォルトファイル形式を変更する場合は、リストからお好みのファイル形式を選択してください。[起動]画面でアプリケーションをリストに表示させたい場合は、チェックボックスをチェックしてください。



選択したアプリケーションの登録を削除するには、[アプリケーションのプロパティ]ダイアログボックス左端の[登録抹消]ボタンをクリックしてください。

ご注意： 登録抹消できるアプリケーションは手動で登録したのみです。

画像形式のサポート

“アプリケーション”は取り込んだ画像を、様々な一般的な画像ファイル形式に変換します。これによって選択されたアプリケーションでも取り込まれた画像を開くことができます。

変換する画像形式は“Eメール”でサポートされている画像形式に加えて、RTF形式とHTML形式をサポートしています。

例えば、Adobe PhotoShopのデフォルトファイル形式としてJPEG形式を設定すると、取り込み画像は自動的にJPEG形式に変換されてPhotoShopに送られます。詳しくは[第3章 Eメール]の“サポートファイル形式”の項を参照してください。

第5章

カード、カレンダー

カード、カレンダーの概要

“カード、カレンダー”は画像を取り込んで PhotoDeluxe に送り、編集をする機能を備えています。PhotoDeluxe を使うと取り込んだ画像を加工したり、テキストを追加したりすることができます。PhotoDeluxe ではテンプレートを使い簡単にカレンダーや名刺、ビジネスレター、誕生日カード等を作成することができ、“カード、カレンダー”で取り込まれた画像から写真を使ったお好みの作品を作ることができます。

ご注意： “カード、カレンダー”をご使用になる前に、PhotoDeluxe をインストールする必要があります。もし PhotoDeluxe がインストールされていない場合、EPSON SMART PANEL の“カード、カレンダー”のアイコンはグレー表示され、使用できません。また、“カード、カレンダー”をプログラムフォルダから起動しても、エラーメッセージが表示されてしまいます。その際は [OK] をクリックして“カード、カレンダー”を終了してください。

カード、カレンダーの操作方法

ステップ1：画像の取り込み

“カード、カレンダー”を開いたら、まず画像を取り込みます。“カード、カレンダー”の[フォトスキャンアシスタント]で簡単かつ迅速に画像を取り込むことができます。画像の取り込みに関する詳細については、[第2章 スキャンアシスタント]の“フォトスキャンアシスタント”の項を参照してください。

ステップ2：確認

画像の取り込みが完了したら、“カード、カレンダー”で取り込まれた画像を確認することができます。画像のサムネイルをダブルクリッ

クするとイメージビューアウィンドウが表示されます。取り込んだ画像を確認して、問題がなければ[PhotoDeluxe の起動]をクリックし、PhotoDeluxe を起動してください。

第6章

OCR

OCRの概要

OCRとは光学的文字認識のことです。“OCR”において、スキャナは用紙上の文字を認識し、その文字形状を読み取り、この文字認識手段を使ってコンピュータテキストに直します。つまり、この機能により、取り込まれた原稿の画像は編集可能なテキスト形式に変換されます。

OCRの操作方法

EPSON SMART PANEL上の“OCR”アイコンをクリックすると、**読ん de!! ココ for EPSON** が起動します。

*ご注意：“OCR”をご使用になる前に、**読ん de!! ココ for EPSON** をインストールする必要があります。**読ん de!! ココ for EPSON** がインストールされていない場合、EPSON SMART PANEL の“OCR”のアイコンはグレー表示され、使用できません。*

読ん de!! ココ for EPSON のご利用方法については、**読ん de!! ココ for EPSON** の取扱説明書またはオンラインヘルプを参照ください。

第7章

コピー

コピーの概要

“コピー”は、スキャナとプリンタを組み合わせでデジタルコピー機として使用できるようにするものです。ユーザーインターフェイスは通常のコピー機と同じですが、より拡張性、柔軟性、機能性に優れています。

エプソン製プリンタでご使用ください。



ご注意： スキャナピボタンで、EPSON SMART PANEL の[コピー]を自動起動した場合は、前回設定した内容(用紙サイズ等)でコピーされます。
設定を変更する場合は、「コピーしています」と表示されている間に[中断]ボタンをクリックしてください。元の画面に戻ります。

クイックガイド

通常、コピーは以下の手順で行います。設定の詳細については、“コピー設定”の項を参照してください。

1. 出力用紙サイズを選択します。
2. 文書タイプを選択します。これで“コピー”にどのような文書や画像をコピーさせたいのかの情報を設定します。
3. スケーリングと印字品質設定が適切かどうか確認します。
4. モノクロコピー、またはカラーコピーを選択します。
5. コピー枚数を設定します。
6. [コピー]ボタン  をクリックします。

“コピー”は、設定に基づいて画像を取り込んでから印刷を行います。

コピー設定

この項では[コピー]設定の詳細について説明します。設定には[標準コピー設定]と[アドバンスコピー設定]の2種類があります。

標準コピー設定

[標準コピー設定]はコピーする際に必要となる一般的な設定です。写真や文書をコピーする際には、原稿台に原稿を置いて画面上の操作パネルでお好みの設定を選んでください。

標準コピー設定は以下の通りです：

[プリンタ]で印刷機器を選択できます。

[用紙サイズ]で出力用紙サイズを選択できます。

[原稿タイプ]で4つのデフォルト書類タイプから選択することがで

きます。各タイプにおいて、あらかじめ設定された標準コピー設定、またはアドバンスコピー設定がされています。画像サイズ、コピー枚数は、書類タイプの設定に影響されることはありません。

[設定]でプリンタドライバのプロパティを画面に表示させます。詳しい情報はプリンタに添付の取扱説明書を参照してください。

[スケーリング]で[100%]、[A4フィット]など好みの比率に設定できます。または ボタンを使って25%から400%まで手でサイズ変更することもできます。それにはまず[スケーリング]ボタン をクリックします。すると[スケーリング]ダイアログボックスが開きます。[スケーリング]ダイアログボックスの詳細については“適正サイズにスケーリング”の項を参照してください。

[コピー品質]ではコピーの品質を設定できます。[コピー品質]をクリックすると[ノーマル]と[ファイン]を切り替えられます。

[モノクロ/カラー]では、モノクロでコピーするかカラーでコピーするかを選択できます。

[枚数]でコピーする枚数を設定します。



[ヘルプ]で“コピー”のオンラインヘルプファイルが開きます。



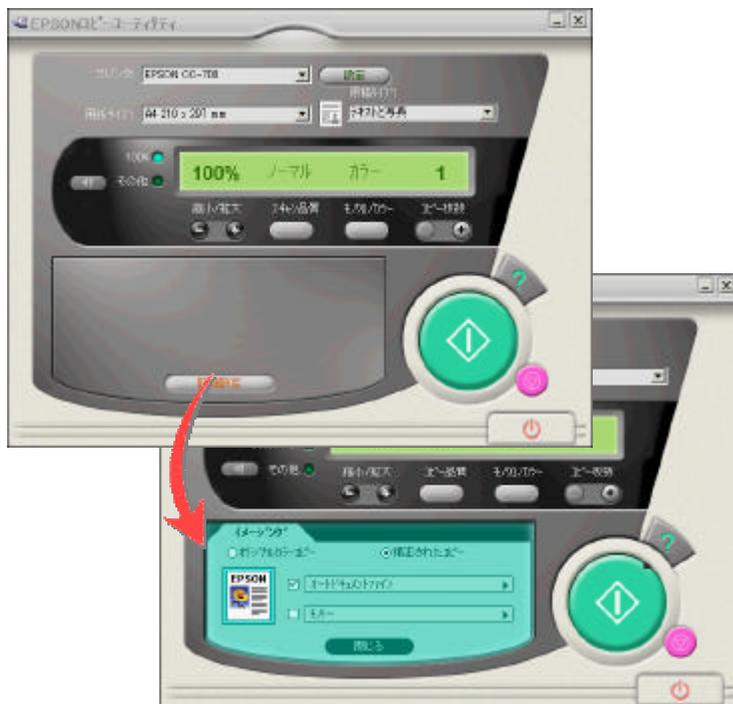
[コピー]ボタンで取り込み作業が開始され、指定の設定で印字結果を得ることができます。



[中断]でコピーを中断します。

アドバンスコピー設定

アドバンスコピー設定によって、より詳細なコピー設定ができます。
[詳細設定] をクリックすると、[アドバンス設定パネル] が開きます。



アドバンス設定パネル

イメージング設定

[オリジナルカラーコピー] をクリックすると、色再現性を高くすることができます。

[補正されたコピー] をクリックすると、自動補正の各種設定が行えます。

[補正されたコピー]設定は以下の通りです。

[オートドキュメントファイン]は原稿のタイプに合わせ、自動的に最適なコピー画質に調整する機能です。原稿のタイプは[テキスト]、[写真]、[テキストと写真]の3種類から選択できます。



[モノトーン]はカラー画像をモノトーン画像に変換します。セピアまたは青系色モノトーンを選択することができます。



ご注意： [モノトーン]設定は、標準設定において[カラー]が選択されている場合のみ可能です。

コピーの活用

デフォルト書類タイプ

“コピー”には4つのデフォルト書類タイプがあります。取り込んだ原稿の内容に基づいて、最も適したものを選択することができます。

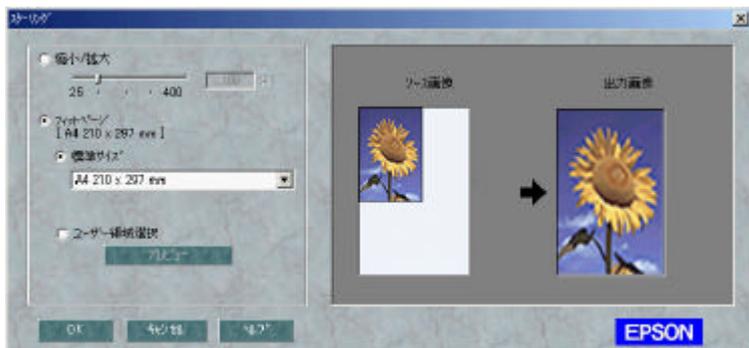
- [テキスト]はテキストのみの書類に最も適しています。
- [写真]はグラフィックのみの書類に最も適しています。
- [テキストと画像]はテキストとグラフィックの両方を含む書類に最も適しています。
- [マルチページ書類]ではADF（オートドキュメントフィーダ）をマルチページコピーに使用することができます。このタイプはADFがスキャナに接続されている場合のみ表示されます。

ご注意： [テキスト]、[写真]、[テキストと写真]、[マルチページ書類]のデフォルト書類タイプには、モノクロとカラーコピー両方の設定が備わっています。従ってモノクロとカラーを切り替えても、書類タイプやユーザー設定が変わることはありません。

適正サイズへのスケーリング

手動でスケーリングを行うには、 スケーリングボタンをクリックして[スケーリング]ダイアログボックスを開いてください。

[スケーリング]ダイアログボックスを開いたら、[縮小/拡大]または[フィットページ]を選択してください。



縮小 / 拡大

スライダーを動かすとソース画像のズーム比率を変えることができます。スライダーを動かしてスケーリング比率を設定するか、スケーリング編集ボックスに 25 ~ 400 の値を入力してください。

フィットページ

次の方法から 1 つを選択して適正サイズに設定してください。画面右側のプレビュー画面で変更を確認できます。

[標準サイズ] はソース画像を拡大または縮小して出力用紙サイズにフィットさせます。元のサイズをドロップダウンリストから選択すると、“コピー” が選択された用紙サイズの他にスケーリング比率を表示します。

[ユーザー領域選択] では [プレビュー] をクリックしてプレビュー画面を表示させ、マウスポインターをプレビュー画面上でドラッグして、最終的にコピーに含める範囲を定めることができます。

ご注意： [ユーザー領域選択] オプションは、標準設定において書類タイプに [マルチページ書類] が選択されている場合は使用できません

第8章

DPE

EPSON Easy Photo Print の概要

EPSON Easy Photo Print は、写真をスキャナで取り込んで印刷する作業を、簡単な一連の操作で行うことができる機能です。EPSON Easy Photo Print さえあれば、生き生きとした写真、カード、そしてパノラマなどの作品が作れます。



原稿には通常の写真だけでなく、ネガフィルムやポジスライドフィルムも使用できます。通常の写真やネガフィルム、ポジスライドフィルムを、4" x 6"、L 版（89×130mm）など各種の画像サイズに印刷できますので、ご自分で気軽に写真の焼き増しができます。

クイックガイド

EPSON Easy Photo Print は写真・フィルムを簡単に印刷するためのアプリケーションです。

 最小化ボタン：画面を縮小して、アイコン化します。

 EPSON Easy Photo Print を終了します。

 スマートパネルで設定されている TWAIN が選択されます。

 クリックすることで、プリンタを選択できます。

 印刷イメージをプレビュー画面で表示します。

原稿：原稿の種類を選択します。

用紙：印刷する用紙の種類を選択します。

写真サイズ：写真を印刷するサイズを選択します。

写真枚数：写真を印刷する枚数を指定します。

 写真を取り込み、印刷をはじめます。

 EPSON Easy Photo Print のヘルプを表示します。

EPSON Easy Photo Print の操作方法

EPSON Easy Photo Print を使って写真を取り込み、印刷する方法を説明します。あらかじめ、プリンタに用紙をセットしておいてください。

ご注意: DPE ボタンを使う前に以下をご確認ください。

- ・印刷するプリンタが選択されていること(「通常使うプリンタ」に設定されていること)
- ・印刷設定が正しいこと

DPE ボタンを押すと、前回設定した内容(用紙サイズ等)で印刷されます。(インストール後初めて使う場合はデフォルト設定で印刷されます)

設定を変更する場合は、「画像プレスキャン中」と表示されている間に[キャンセル]ボタンをクリックして、元の画面に戻って変更してください。

ステップ1：出力先を選択

EPSON Easy Photo Print に画像を取り込む前に、 アイコンをクリックしてより出力先(プリンタ)を選択してください。

ステップ2：原稿の種類を選択

原稿をセットしたら、EPSON Easy Photo Print で原稿の種類を選択します。



をクリックすると、原稿種類選択画面が表示されます。セットした原稿の種類を選んでクリックして選択します。

ご注意: 原稿のセット方法、およびオプションの透過原稿ユニットやフィルムホルダの詳しい取り扱いについては、スキャナに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

ステップ3：印刷用紙の種類を選択

印刷する用紙の種類を選択します。



をクリックすると、用紙選択画面が表示されます。印刷する用紙をクリックして選択します。

ご注意：原稿ポジ/ネガフィルムを選択した場合、用紙サイズで「原寸」は選択できません。

ステップ4：印刷する写真サイズを選択

印刷する写真のサイズを選択します。



をクリックすると、写真サイズ選択画面が表示されます。印刷する写真サイズをクリックして選択します。

ご注意： 選択できるサイズは、取り込み原稿の種類と印刷用紙の種類によって変わります。また、1枚の印刷用紙に複数の画像を印刷できる場合は、印刷用紙を効率的に利用できるように、自動的に画像を割り付けて印刷します。1枚の印刷用紙に最大で4画面まで割り付けられます。

ステップ5：印刷枚数を選択

印刷する写真の枚数を指定します。



をクリックして、写真の枚数を指定します。

ステップ6：スキャンと印刷

スキャナから原稿を取り込み、印刷します。



をクリックすると、原稿の取り込みが始まり、取り込み終了後、自動的に印刷されます。

お使いになるにあたって

動作環境

EPSON Easy Photo Print を使用するには、次の動作環境が必要です。

コンピュータ

| | | |
|---------|----------------|--|
| OS | USB 接続 の場合 | Windows 98 MacOS 8.5 以上 (iMac では MacOS 8.1 以上) |
| | SCSI 接続 の場合 | Windows 95/98、Windows NT4.0 MacOS 7.5 以上 |
| メモリ | 8MB 以上 | |
| ハードディスク | 20MB 以上 | |

プリンタ

EPSON Easy Photo Print は、EPSON カラリオ PM シリーズに対応しています。(PM-700C は除く)

対応プリンタの最新情報については、EPSON FAX インフォメーション、またはエプソン販売ホームページ (<http://www.i-love-epson.co.jp/>)をご覧ください。

取り込み原稿の種類

EPSON Easy Photo Print では、次の種類の写真原稿を取り込んで印刷できます。

- 写真原稿 (最大 A4 サイズ)
- 35mm ネガフィルム
- 35mm ポジスライドフィルム

印刷用紙の種類

EPSON Easy Photo Print を使って印刷できる主な用紙の種類には、次のようなものがあります。

- フォトプリント紙 2
- フォトカード 2
- PM写真用紙（光沢）
- スーパーファイン専用光沢フィルム

印刷サイズの種類

EPSON Easy Photo Print では、写真を印刷するサイズを次の中から選択できます。選択できるサイズは、取り込み原稿の種類と印刷用紙の種類によって変わります。

- 原寸（原稿と同じ大きさに印刷します）
- 4" x 6"
- 8ツ切
- 6ツ切
- E版
- L版
- 2L版
- キャビネ版
- パノラマ
- 印刷用紙サイズ（印刷用紙の全体に写真を印刷します）